



ジオパーク出前授業の様子。田老の防潮堤に上って津波の歴史を聞きました。(山口小学校・2019年11月実施)

# ゴーモンくん みやこちゃん の GEO 発見新聞

2021年3月発行 第29号

東日本  
大震災から  
10年

## 学び、伝える 三陸ジオパーク

三陸ジオパークの使命は、津波災害から学んだことを  
後世へ伝え、世界に発信していくこと。  
未来を担う子どもたちに向け、防災学習を行っています。



「震災メモリアルパーク中の浜」での出前授業では、津波の恐ろしさが分かる建物やパネルを見学(藤原小学校・2019年9月実施)



なんでジオと防災？  
ジオパークって化石とかを見て、  
地球の歴史を学ぶところでしょ？



それはジオパークで学べることの  
ほんの一部よ。  
三陸ジオパークの一番の特徴は、  
津波の教訓を学べることなの。



そうなんだ・・・  
確かに三陸地域は、昔から何度も  
大津波を経験してるよね。



悲しみを再び繰り返さないため  
には、災害の経験を未来へ伝えてい  
く必要があるわ。  
三陸ジオパークの大切な役目よ！

ジオパークで正しく知る  
津波の教訓と海との共生

東日本大震災から10年！  
当時まだ生まれていなかった  
子どもたちも増え、震災の伝  
承が一層重要になっていきます。  
三陸ジオパークでは「あの  
日の記憶」とともに、地震と  
津波が起きるしくみや、どう  
いう場所で災害が大きくなる  
のかを知り、海や自然との共  
生を学ぶことができます。  
ジオパークは世界中の国々  
にあります。津波の教訓と  
復興の取り組みを学べるのは、  
わたしたちが住んでいる三陸  
ジオパークだけです。



「走って逃げられるかな？」スライドを使って津波の速さを学びました。(崎山小学校・2020年9月実施)

市内の児童・生徒・学生を対象に、防災学習などジオがよくわかる「三陸ジオパーク出前授業」を無料で  
行っています。お気軽にお問い合わせください。(宮古市産業振興部観光課 ☎ 0193-68-9091)

# 三陸ジオパークのテーマは、「悠久の大地と海と共に生きる」 ～ 震災の記憶を後世に伝え学ぶ地域へ～

わたしたちの住む三陸は、はるか大昔から海の影響を受けてきた地域です。  
海がもたらす豊かなめぐみが、人々の暮らしを支えてきました。



世界有数の漁場、地形を生かした良港、様々な漁法のおかげで、三陸では古くから漁業が盛ん

海のそばでは津波が起き、大きな被害をもたらしますが、海と大地の豊かさにより、この地で共に生き続けています。



震災直後のたろう観光ホテル

災害は、今後もくり返されることがあります。



令和元年台風19号で壊れた震災メモリアルパーク中の浜のモニュメント



防潮堤完成予想図を説明する「学ぶ防災ガイド」

三陸ジオパークでは、海と大地と共に生き続ける人々の姿を伝え、震災の体験と教訓を語りつぎ、三陸の未来を考えていきます。



僕たちの生活は海と切り離せないけど、自然って怖いところもあるよね・・・。

ガイドさんのお話を聞いてみて！日頃の備えと避難方法が学べるの。家族や親せきで、普段から防災について話し合うことも大切よ。



おじいちゃんにも聞いてみようって！これまでずっと海と一緒に暮らしてきたんだもんね。

きっと知恵や工夫が学べるわね。宮古以外にも、三陸には学習施設や過去の津波を伝える記念碑もたくさんあるから行って見てね。



津波の町・田老から教訓を伝える

## 学ぶ防災ガイド

☎0193-77-3305

(要予約)

◆受付 9:00～17:00  
(道の駅たろう内 たろう潮里ステーション)

◆ガイド最終受付  
11月～3月 15:30  
4月～10月 16:30

◆時間・ガイド料  
(1グループ、ガイド1名につき)  
30～60分 4,000円、  
90～120分 10,000円



宮古から足を延ばして行ってみよう

## 東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル

◆入館料 無料  
◆開館時間 9:00～17:00  
(最終入館16:30)

◆住所  
陸前高田市気仙町字土手影180番地(高田松原津波復興祈念公園内)  
☎0192-47-4455



発行：宮古市三陸ジオパーク推進協議会

☎ 0193-68-9091 FAX 0193-63-9120

岩手県宮古市宮町一丁目1-30 宮古市産業振興部観光課



Instagram  
やってます！



Facebook  
はこちら



宮古市 ジオパーク

🔍 検索